

新連載

はじまるよ

オトナの美容医療

VOL 01 「みんな何歳くらいで何やってるの?」

さあスタートしました、美容医療に関するアレコレを深掘りしていく新連載！美容医療と聞くと、ちょっとハードルが高い、他の人には聞きにくい、なんて思っている人も多いのでは？そこで1回目は、年代別のお悩みやそれに応じたメニューを調査！

Illustration:AKIKO HIRAMATSU text:EMI TANIGUCHI



手術で自然に解消！
「目元の皮膚たるみ」

加齢による皮膚のたるみや重力などにより、目まわりの筋肉が落ち、目が開けにくくなってしまいます。視野を広げようとするので、おでこや眉間シワができてくるとなります。後者老けた印象に、伸びきってしまった皮膚を取り除くたるみの症状や目のバランスに合わせて、デザインしながら縫合手術を。傷も残らず、自然な仕上がり。

- ★眉下切開手術(アイフット) ¥298,000
- ★眼瞼下垂手術片側 ¥22,000~ ※保険適応の場合

幹細胞治療をトライ！
「薄毛」

薄毛治療はとにかく痛みが嫌で途中でやめてしまう人が多かったなかで、U225という「メソガン」を使用した治療は、極細のハリなので痛みや出血がほとんどないので特徴。老化した組織そのものを若返りを行う「幹細胞」薬剤を注入することで、薄毛治療だけではなく、白髪改善や予防、地肌ケアや髪のハリ・コシUPまで期待することができる。

- ★U225メソガン ¥50,000
- ★頭皮メソセラピー ¥20,000



白髪になる前に駆け込む人多数！
「VIO脱毛」

ワキ脱毛は20代のうちに終わっているけれど、VIO脱毛はまだ手付かず……という人が多かったなかで、産後の体毛増加や将来の介護脱毛としてデリケートゾーンの脱毛を見直す人が急増。介護されるぞってまだまだ先の話、なんて思っている人もレーザー脱毛はメラニンに反応して脱毛するしくみなので、白髪が増えてしまうと照射が困難に。白髪になった後では遅いので、早めの準備が肝心。医療脱毛なら出力が高いため短時間で済み、ドクターも常駐しているので安心との声も。

- ★レーザー脱毛 VIO1回 ¥24,000~
- ★VIO通いたい放題プラン ¥240,000



種類もいろいろある小顔注射で
「小顔願望」を実現！

小顔治療の二大巨頭が、植物が主成分の「小顔注射(BNLS)」と高麗人参が主成分の「人参注射」。どちらもフェイスラインと首の境目が無い頬のお肉が減らない人にオススメ。「人参注射」は漢方注射なので、他の脂肪溶解注射に比べて時間を空けずに注入ができ、即効性を求める人に◎。「カクテル注射」は適応部位が多いのが特徴。フェイスラインや頬だけでなく鼻やまぶたなどの細部にもOK。その他にも二重あご専用の注射もあり悩みに応じて治療を。

- ★BNLS注射 1本 ¥15,000~ (フェイスラインで1、2本目安)
- ★人参注射 2cc ¥20,000~ (頬一部で2cc、顔全体で約5cc目安)

小顔注射の種類	効果	腫れ	おすすめ部位
BNLS注射	○	なし	頬・フェイスライン
人参注射	◎	なし	頬・フェイスライン
Wオリジナルカクテル注射	○	なし	小鼻・だんご鼻埋没
二重あご注射	◎	やや腫れる	二重あご専用

とにかく小顔と二重♡

ニキビや毛穴など20代らしい悩みはもちろんだが、近年のホットピックスは小顔と目、まだエイジング悩みのない世代なので、目や鼻といったパーツ、顔のサイズにこだわりが。



光治療やレーザー+内服薬で複合的かつ長期的にアプローチ！
「シミ」「肝斑」「肌くすみ」

レーザーを打っておしまいではなく「トラネキサム酸」などの内服薬や外用薬でのフォロー、新たなシミを作らないようメンテナンスをしていくのがポイント。「PTPトニング」は日焼けによるシミやそばかすはもろくなる。今までレーザーを当ててはタブーとされていた肝斑治療まで叶えるレーザー治療法。5~10回程度で透明感のある肌。「ピコスポットレーザー」は目立つシミやニキビ痕などをピンポイントでケア。徹底的にシミをなくし、肌トーンを上げたいならセットで行うとより効果的！

- ★PTPトニング 全額1回 ¥12,000
- ★ピコスポットレーザー 1カ所 ¥5,000~
- ★トラネキサム酸 30日分 ¥1,500~



ハイフ(超音波)・ヒアルロン酸・スレッドで「フェイスラインの緩さ」に活！

フェイスラインがぼんやりして30代半ばの壁には超音波で表面の皮膚を傷つけずに、筋膜のたるみやアプローチをしてくれるハイフを。頬のたるみやほうれい線が気になる場合はヒアルロン酸、肌全体を引き締めたハリア感が欲しい場合は糸を使うスレッド治療がベスト。

- ★ハイフ(ウルトラセルQ+) 初回 ¥100,000~
- ★引き締めスレッド 20本 ¥60,000~
- ★ヒアルロン酸リフト 1本 ¥120,000~

メディカルスキンケア治療を駆使！
「ニキビ痕」「開き毛穴」

ここ最近、美容医療でトレンドとなっているのが肌再生治療。「ダーマペン4」はペンタイプの皮膚再生治療器具で真皮のコラーゲン層に微細な穴を開けることで、肌自体が傷を修復しようとする治癒能力を活性化。ハリを高めたハリア感や開きや古い角質を洗浄する「H₂ハイドロクレンジング」を。

- ★ダーマペン4 1回 ¥30,000~
- ★H₂ハイドロクレンジング 初回 ¥5,000



Profile 医療法人 涼葉会 理事長・W CLINIC 総院長。形成外科医や美容皮膚科・美容外科医としての経験を活かし、2014年に「美は健康な身体から」をテーマとした「W CLINIC」を大阪に設立。東洋医学・アーユルベダ等のホリスティック医療を取り入れた多彩なアプローチで最新の美を提供し、話題の美容スポットに。昨年にはオーガニックな食材を用いたフード＆ドリンクを提供する会員制スペース「W holistic retreat」もオープン。医療行為ではないから本来の健やかで美しい状態を提唱する先生のアプローチは、大阪だけでなく全国の女性から注目を集めている。高い人気を受け、12/1には福岡院もオープン！

「とはいえ、美容クリニックは気合を入れていく場所でもないし、もっと身近に感じてほしい。気になることがあるなら、スキンケアの延長感覚で気軽にクリニックを訪れることから始めてみて」

さまざまなお悩みを聞いて、情報は知識を身につけて、自分と向き合うことがキレイになるための近道なのかも。「肌の悩みに対しての解決法はひとつではありません。私も以前は肌トラブルに悩んでいたひとり。そのときに、外から治療するだけでは根本的な解決にならないと気付いたんです。もちろん生活習慣の見直しも重要。だからこそ、私たちのクリニックでは、外科や皮膚科だけでなく、婦人科や消化器内科の医師や、漢方や鍼の医師が在籍しており、多方面から総合的なアプローチと、丁寧なアフターケアに注力しています」

う施術も多々あったのですが、現在は研究もマシンも進化して、肌負担なく最大限の効果を出せるものが増えています。価格に関しても、治療の幅も広がりが、ひとりひとりの目的や予算に合わせて選択できるように。美容医療は一度行ったら終わってしまうわけではなく、治療を重ねていくことで効果を成していくので、当院の平均単価は約三万円。続けて通える価格設定にしています。打開策もなく悩んで、鏡を見るたびに落ち込むぐらいなら、プロの手に委ねれば解決も早い。結果的に気にし過ぎていた場合もあるし、早いうちに老化を食い止める可能性もある。客観的に自分を知ることが、美容の面からも精神面からも、とても健康的で大切なこと」

プロのアドバイスを聞いて、情報や知識を身につけて、自分と向き合うことがキレイになるための近道なのかも。「肌の悩みに対しての解決法はひとつではありません。私も以前は肌トラブルに悩んでいたひとり。そのときに、外から治療するだけでは根本的な解決にならないと気付いたんです。もちろん生活習慣の見直しも重要。だからこそ、私たちのクリニックでは、外科や皮膚科だけでなく、婦人科や消化器内科の医師や、漢方や鍼の医師が在籍しており、多方面から総合的なアプローチと、丁寧なアフターケアに注力しています」

「お話を伺ったのは……」

医療法人 涼葉会 理事長・W CLINIC 総院長
足立真由美先生

「上手な付き合い方」です

キレイへの最短距離は、大げさなことはしなくていいけれど、そろそろ向き合わなければいけない気もする美容医療。みんな違って、もう取り入れていくの？いつごろ始めどきなのか？脱毛やシミ取りは経験済みではあるけれど、その先に進むにはなかなかハードルが高い……なんて躊躇している人も多いのでは？そこで、W CLINIC 総院長・足立先生に、美容医療との上手な付き合い方を伺いました。

「ドクターがいるだけで敷居が高いイメージがあるかもしれないけど、私はヘアサロンやトレーニングに行く感覚で美容クリニックに足を踏み入れてほしいと思います。もしかしたら、私にはまだ早い」とか「気になるようになってから行く」と思っている方も多いかもしれないけど、でも、美容医療を取り入れることは、早いと越したことはないんです。例えば、ハイフなどを早いタイミングで取り入れておけば、たるみなどの老化スピードを緩やかにすることができます。逆に「気になるようになってから」では、糸を入れたり、大掛かりな手術をしなければ、どうにもならない段階になっていくことも。美容医療は自分の肌質や変化を把握することにもなるので、現状維持をする、エイジング予防するためにも、早めのスタートが肝心です」

まさに先手必勝……！でも、それほど衰えを感じていないタイミングで美容医療を取り入れるのは、肌への負担や金銭面で不安を感じてためらってしまうかも。

「以前は長いダウンタイムや、痛みを伴

